

第6回
京都

京都服育研究会主催



定期セミナー

KYOTO FUKUIKU SOCIETY'S SEMINAR for TEACHERS

日時 2013年10月19日(土) 15:00 - 17:00

対象 学校・教育関係者 ※その他の方はお問い合わせ下さい

場所 メルパルク京都 4階 研究室3.4

参加費 無料

主催 京都服育研究会

先着順
受付

お申込み方法

● 京都服育研究会へ直接お申し込み

Tel. 075-602-7271 (双葉産業)

Tel. 075-231-1593 (村田堂)

Tel. 06-6222-3531 (チクマ)

※お名前、学校名、ご連絡方法についてお伝えください。

● FAXでのお申し込み

06-6222-3614 (チクマ)

● メールでのお申し込み

fukuiku@fukuiku.net

※必ず10月19日京都の服育定期セミナー参加希望と明記の上、お名前、学校名、ご連絡方法についてご連絡ください。

私たちは服育を3つの観点から考えていきます。



15:00-16:30 90分

防災へ、服からのアプローチ

～身近な衣服から始める震災への備え～

Main
Seminar

東日本大震災以降防災教育の重要性が叫ばれ、災害に対する備えについても建物の耐震化や食料等の避難拠点への備蓄など、様々な対策がとられています。しかしその多くは子ども達が直接かわるものではなく、震災から時間が経つにつれ身近な問題として捉え難く感じている子もいるのではないのでしょうか。

子ども達がより主体的に関わっていくためのひとつの解が「衣服」かもしれません。誰にとっても毎日着用する身近な衣服。どんな状況の中でもなくてはならない衣服から災害への備えを考え行動することで、よりリアリティを持って捉えることができるのではないのでしょうか。

本セミナーでは衣服から防災への取り組みについて、どのような観点があるのか広く考えてまいります。

講師プロフィール

横浜国立大学 教育人間科学部 教授

薩本 弥生 (さつもとやよい)

■現在

横浜国立大学教育人間科学部教授・博士(被服環境学)

2004年4月より本学会「快適性・健康」研究委員会委員

■経歴

1987年 お茶の水女子大学家政学部被服学科卒業

1989年 お茶の水女子大学大学院家政学研究科被服学専攻修士課程修了

1992年 文化女子大学大学院家政学研究科被服環境学専攻博士課程修了

■研究内容

被服環境学・被服衛生学・被服構成学をベースとして着衣の熱水分移動特性、着衣の運動機能性に関する研究に従事。

■主な著書

・アパレルと健康ー基礎から進化する衣服までー

・日本家政学会被服衛生部会編、株式会社井上書院、分担執筆、2012。

・衣生活の科学、谷田良麻子、間瀬清美編著、アイケイコーポレーション、分担執筆、2006

・快適ライフを科学する、藤本弥生編著、丸善株式会社、2003

・衣生活の科学、分担執筆、放送大学教育振興会、2002 (ほか)



例えばこんな場面に
役立ちます

防災教育に
防災の取組を
身近な視点で

家庭科で
被服分野
について教える時に

生徒との会話に
日常生活の中に
防災の視点を

16:30-17:00 30分

子ども達を守る様々な衣服の取組

～制服で、授業で、子ども達を守る様々な取組紹介～

講師：服育研究会 有吉直美

子ども達を取り巻く様々な危険要因に対し、私達に何ができるか考えてまいります。

毎日着用する衣服でできる工夫はもちろん、被服実習に防災の観点を取り入れた取り組み事例についてもご紹介いたします。

Sub
Seminar

こころを育む衣服



<http://www.fukuiku.net/>

京都服育研究会

- 双葉産業株式会社 Tel. 075-602-7271 <http://kyoto-futaba.jp/>
- 有限会社村田堂 Tel. 075-231-1593 <http://www.muratado.co.jp/>
- 株式会社チクマ キャンパス事業部 Tel. 06-6222-3531 <http://www.chikuma.co.jp/cam.htm>

メルパルク京都 4F 研究室3,4

〒600-8216
京都府京都市下京区東洞院通七条下ル
東塩小路町676番13

・JR京都駅(烏丸中央口)から東へ約1分

・駐車場 営業時間/8:30~22:30

料金/400円(1時間)

